

小規模保育施設における園外活動に関する基礎的研究

Preliminary study about actual status of
outside activities on small-scale childcare facilities

辻川 ひとみ*, 吉住 優子**

TSUJIKAWA Hitomi YOSHIKUMI Yuko

This paper study the actual status of outside activities of on small-scale childcare facilities. The methods for collecting data were the design of a survey for 637 small-scale childcare facilities throughout Japan and the analysis of the answers received from them. As a result, we clarified the following points; 1) From the study of environmental situation around facilities, the existence of 6 types of area: “New residential area”, “Dense residential area”, “Development completed residential area”, “Newly developed residential area”, “Urban area” and “Industrial area” are founded according to an analysis based 5 aspects: ①Density of houses, ②Type and number of public and commercial facilities, ③existence of transportation, ④area of agricultural land and vacant land, ⑤Road network status. 2) About 90 % of facilities perform outside activities within 1.2km from their facilities. 3) From the study of resources that facility uses in outside activities, 3 types of resource categories are found according to an analysis based on educational purpose: a) development physical strength and touching nature, b) development communication with others, c) learning culture and society.

1. はじめに

近年共働き世帯の増加や核家族の都心回帰などを背景に、小規模保育施設は待機児童問題や地方の児童人口減少地域での保育基盤維持として重要な役割を担っている。小規模保育施設とは、0～2歳児を対象とし、受託児童定員数を6～19人とした保育施設である。特に待機児童数が多く大型園が設置しづらい都市部では、働く親のニーズに対応できることや、空き家や既存建物の改修による設置が可能であることから、利用者と運営側双方にメリットがあり、多くの自治体下で運営が行われている。内閣府による2015年「子ども・子育て支援新制度」では、0～2歳児の保育を行う地域型保育事業を市町村による認可事業とし、自治体がそれぞれの地域の実情に応じて、認可に関わる設備及び運営に関する基準の一部を決定できるとともに、多様な施設や事業の中から利用者が自ら選択できる仕組みが取り入れられた。しかしながら自治体ごとの独自制度で設置された保育所には課題が多く、特に園庭の有無は重要な項目の一つである。集合住宅やテナントなどを利用し駅近に開設するなど、施設に園庭の設置が困難な場合は、小規模保育施設の設置基準において、保育所付近にある公園等を園庭の代替地とすることが認められている。このように園庭を持たない施設等では園外活動が必要となるため、児童が日常的に利用する代替地の環境をはじめ、経路の安全対策など、安心して保育が行われる環境整備について考察を重ねるべきと考える。

既報¹⁾では、全国の小規模保育施設に対するアンケート調査を実施し、小規模保育施設における施設の建築内容と保育室の概況、保育室等の諸室・設備と運営状況、および連携施設との関係について把握することができた。本研究では小規模保育施設において行われている園外活動の種類、また利用されている地域資源の種類を整理し、園外保育の状況を明らかにすることを目的とする。

* 居住空間デザイン学科 教授

** 居住空間デザイン学科 研究員

2. 調査方法

本研究の調査概要を表1に示す。既報¹⁾で行われた第1次調査では、2016年度の厚生労働省「待機児童解消加速化プラン」に参加した市区町村のうち、「小規模保育整備」又は「小規模保育設置促進」計画の実施を予定する全国の286自治体を対象としてアンケート調査を行った。主な調査項目は、小規模保育事業の実施状況等の概要及び実施施設の運営基準と認可基準についてである。回収数は244件であったが、そのうち10件は事業未導入との回答を得たため、有効回答数は234件、有効回答回収率は84.7%であった。次に第2次調査では、第1次調査で有効回答を得た234件の自治体において、ホームページ上で住所が公開されていた小規模保育施設3,068件を対象に、保育運営と施設内容に関するアンケート調査を行った。その結果、637件の有効回答が得られ、有効回答回収率は20.8%であった。本研究では第2次調査で回答を得た637件を調査対象施設とし、園外活動の実態を把握する。

本分析対象施設について、都道府県別に分類したものを表2に示す。回答数の上位は大阪府98件、神奈川県56件、東京都46件、静岡県39件、兵庫県38件であり、政令指定都市などの大都市を持つ都道府県であった。さらに千葉県34件、宮城県33件、北海道31件、埼玉県31件が上位に続く一方で、中都市を持つ都道府県である和歌山県、香川県、熊本県では1件の回答数となった。

表1 調査概要

第1次調査	全国自治体における小規模保育の内容と認可状況等の現状把握
調査期間	2018年9月上旬から同年12月中旬まで
調査対象	小規模保育事業を行っている全国の自治体286自治体
調査方法	各自治体の担当部署宛てに調査票を郵送にて配布・回収した
回収集計	回収数：234件 有効回答数：234件 有効回答回収率：84.7%
主な調査項目	1)小規模保育事業の概要 2)実施施設の認可基準 3)A・B型施設における運営基準と施設基準 4)C型施設における運営基準と施設基準 5)今後の小規模保育について
第2次調査	小規模保育施設における保育運営と施設に関する現状把握
調査期間	2019年5月上旬から2020年1月下旬まで
調査対象	全国の小規模保育施設3068件
調査方法	各小規模保育施設宛に調査票を郵送にて配布・回収した
回収率	回収数：659件 有効回答数：637件 有効回答回収率：20.8%
主な調査項目	1)管理・運営状況 2)施設の状況 3)諸室の状況 4)認可時の状況 5)戸外活動場所について 6)施設平面図と保育室の使い方

表2 都道府県別分析対象施設数(N=637)

北海道	31	栃木県	12	長野県	3	京都府	23	岡山県	3	佐賀県	6
岩手県	23	埼玉県	31	岐阜県	3	大阪府	98	広島県	4	長崎県	10
宮城県	33	千葉県	34	静岡県	39	兵庫県	38	山口県	2	熊本県	1
山形県	5	東京都	46	愛知県	27	奈良県	5	香川県	1	大分県	4
福島県	11	神奈川県	56	三重県	2	和歌山県	1	愛媛県	7	鹿児島県	2
茨城県	13	新潟県	2	滋賀県	22	鳥取県	4	福岡県	16	沖縄県	20

3. 園外活動の状況

本分析対象施設における園外活動圏域を図1に示す。最も多い活動圏域は、400m以上800m未満で全体の35.0%、次いで800m以上1,200m未満で30.5%で、400m未満で22.3%であった。一方1,200m以上で園外活動を行なっている施設は12.2%で、9割程度の施設が1,200m圏内で園外活動を行なっている事がわかる。

本分析対象施設が立地している周辺環境の地域特性を、本分析対象施設の大半が園外活用に利用している、施設を中心とした半径1,200mの範囲で、インターネットによる航空写真(Google earth)と都市地図(Mapple, ZENRIN 縮尺:1/3,000)を利用して、①住宅の密集度合い、②公共施設・商業施設の種類の有無、③交通機関の有無、④農地や空地の有無と面積、⑤道路網の状況、を軸として分析したところ、「新興住宅地」、「密集住宅地」、「開発完了住宅地」、「開発新興住宅地」、「市街地」、「工業地」の6つのタイプに分類された。これらの典型事例を図2に示す。また、この6つの地域タイプ別に園外活動の状況を整理し、表3に示す。

「新興住宅地」は戸建て住宅を主とした住宅地で、大半が第一種住居専用地域である。「密集住宅地」は街路があまり整備されていないまま住宅が建込み、空地が少なく、主として長屋等の小規模な住宅が多く、近隣には商店街等の商業施設も確認できる。「開発完了住宅地」は農地などが住宅地として開発され、ほとんど空地や農地がなくなった状態の地域である。「開発新興住宅地」は部分的に農地が残っており、住宅地が散在している地域である。「市街地」は、近隣商業地域で住宅地と商業施設が混在し、駅や公共施設も近くに立地している。「工業地」は周辺に大規模な工場や小中規模の工場が多くみられる地域である。

本分析対象施設 637 件における地域タイプの内訳を見ると、「密集住宅地」に立地した施設が

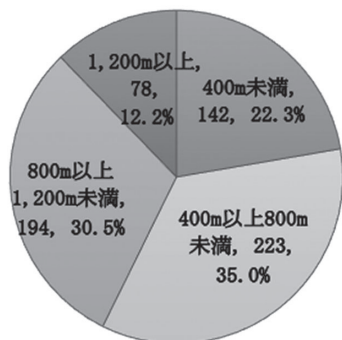


図1 園外活動圏域 (N=637)

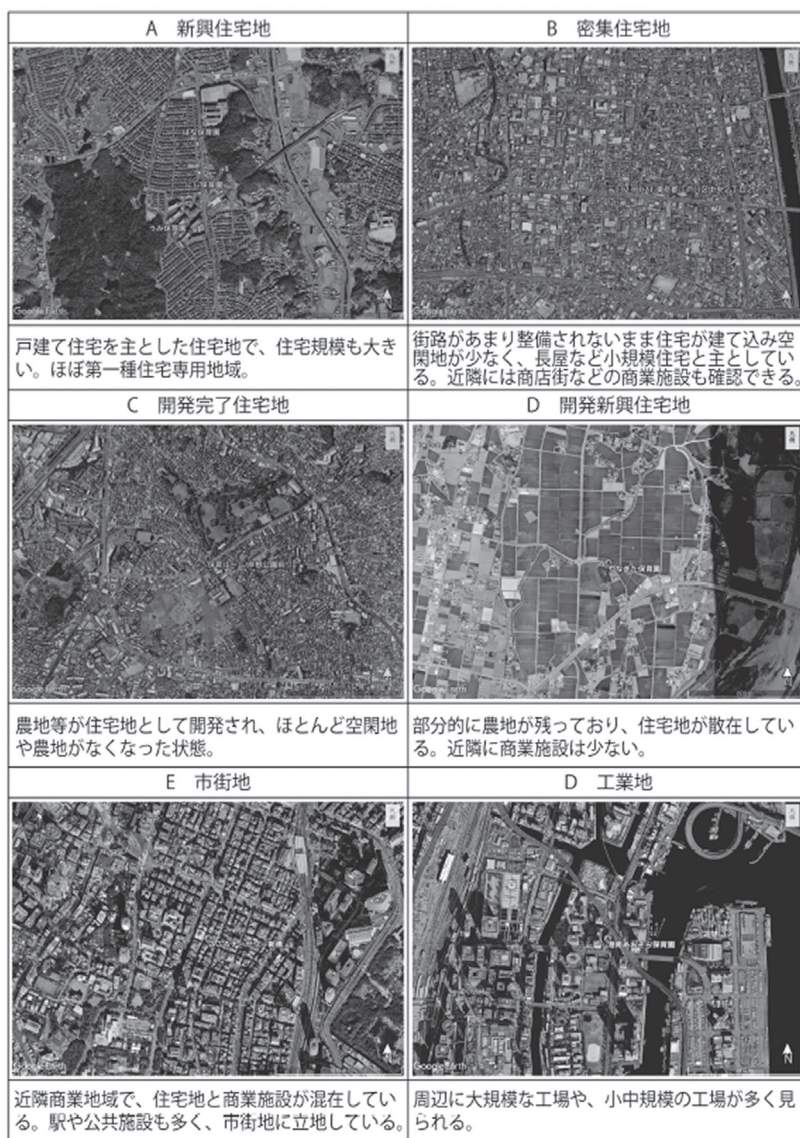


図2 6つの地域タイプ典型事例

27.0%と最も多く、次に多かったのが「開発完了住宅地」25.7%で、ほぼ同率となった。この2つの地域は、人が多く集まり暮らしている地域であるため、乳幼児を持つ共働き夫婦の居住率も高いと考えられ、保育施設需要との関係が窺われる。さらに「市街地」が16.6%、「開発新興住宅地」が14.8%で続き、大型園が設置しづらい都市部での小規模保育施設の需要が見られる一方で、都市部の用地不足等により、郊外においても同様に需要が高い傾向にあることが把握できた。

(1) 園庭面積

児童1人当たりの園庭面積を地域タイプ別で分類したものを表3に示す。園庭面積0㎡すなわち園庭を持たない施設は、本分析対象施設637件のうち364件(57.1%)にのぼり、過半数を占めていた。地域タイプ別に見ると「工業地」では84.8%、「市街地」では81.1%となり、これらの地域タイプでは8割以上の施設が園庭を持たない結果となった。また「密集住宅地」では64.0%、「新興住宅地」では60.3%の施設が園庭を持たないことが分かった。一方で「開発完了住宅地」では45.1%、「開発新興住宅地」では26.6%の施設が園庭を持たず、これらの2つの地域タイプでは園庭を持つ施設の方が多いことが把握できた。

児童1人当たりの園庭面積を地域タイプ別に見ると、「開発新興住宅地」では園庭面積5㎡以上が42施設(44.7%)と最も多く、次いで3.3㎡以上5㎡未満が11施設(11.7%)と続くことから、この地域では十分な広さの園庭を持つ施設が多いことが分かった。また小規模保育施設における国の設置基準では、園庭又は代替地は「幼児1人につき3.3㎡以上であること」と規定されているが、「新興住宅地」、「密集住宅地」、「開発完了住宅地」、「市街地」、「工業地」のいずれのタイプにおいても、7割以上の施設が園庭面積を3.3㎡未満しか持っておらず、代替地による園外活動が不可欠な状況であることが把握できた。

(2) 園外活動圏域

園外活動圏域を地域タイプ別で分類したものを表3に示す。分析対象施設ごとの園外活動圏域を400m未満、400m以上800m未満、800m以上1,200m未満、1,200m以上に分類し比較したところ、全体では園外活動圏域400m以上800m未満の施設が最も多く、全施設の35.0%を占めていた。次に多かったのが800m以上1,200m未満の施設で、30.5%となった。

地域タイプ別に見ると、「開発新興住宅地」においては園外活動圏域400m未満の施設が34.0%で最も多く、次いで400m以上800m未満が29.8%を占めており、住宅地が点在し農地が残された地域であることで、園外活動を担う場所が比較的多く存在することが分かった。一方で「市街地」においては園外活動圏域400m以上800m未満が35.8%で最も多く、次いで800m以上1,200m未満が33.0%と3割以上を占めており、「市街地」の施設周辺には園外活動のための場所が少ない傾向にあることが把握できた。またこの地域タイプでは、園庭を持たない施設が多い地域であることも、園外活動圏域の大きさと関係していることが窺われる。なお「新興住宅地」、「密集住宅地」、「開発完了住宅地」、「工業地」においては、園外活動圏域による差は見られなかった。

次に園外活動圏域を児童1人当たりの園庭面積で分類したものを表4に示す。いずれの園庭面積を見ても、園外活動圏域400m以上800m未満、もしくは800m以上1,200m未満の施設が多い結果となり、園外活動圏域と園庭面積に大きな相関関係は見受けられなかった。これらは施設が立地している周辺環境において利用できる資源の有無に左右されるからであると考えられる。さらに園外活動圏域1,200m以上である78施設のうち51施設(65.4%)が園庭なしであることから、園庭面積を持たない施設の方が、より施設から距離のある資源を利用していることが把握できた。

(3) 利用地域資源数

利用地域資源数を地域タイプ別で分類したものを表3に示す。なお利用地域資源数については、施設へのアンケート調査において園外活動の際に利用していると回答のあった地域資源を利用地域資源としてカウントし、施設ごとの件数を求めて比較を行った。最も多かったのは、利用地域資源数5件未満の施設で、全施設の45.1%にのぼった。次に多かったのは利用地域資源数5件以上10件未満で、41.9%の施設に見られた。また地域タイプ別に見ると、「新興住宅地」と「工業地」では利用地域資源数5件以上10件未満が最も多く、「開発新興住宅地」では5件未満が67.0%で特に多く見られた。なお「開発新興住宅地」では、園庭なしの施設が少ない地域であるため、代替地が不必要な施設が多く、利用地域資源数が少ない結果に繋がったと考えられる。

次に利用地域資源数を児童1人当たりの園庭面積で分類したものを表4に示す。利用地域資源数15件以上の28施設のうち21施設(75.0%)は園庭なしの施設で7割以上を占めていた。園庭なしの施設では、利用地域資源数5件以上10件未満が43.7%で最も多かった。園庭面積1㎡未満の施設と1㎡以上1.98㎡未満の施設においては、いずれも利用地域資源数5件以上10件未満が最も多く、園庭面積1.98㎡以上では利用地域資源数5件未満の施設が多い結果となった。これらのことから園庭を持た

表3 園外活動の状況

		合計	地域タイプ					
			新興住宅地	密集住宅地	開発完了住宅地	開発新興住宅地	市街地	工業地
合計		637 (100.0)	68 (100.0)	172 (100.0)	164 (100.0)	94 (100.0)	106 (100.0)	33 (100.0)
児童1人当たりの園庭面積	0㎡(園庭なし)	364 (57.1)	41 (60.3)	110 (64.0)	74 (45.1)	25 (26.6)	86 (81.1)	28 (84.8)
	1㎡未満	13 (2.0)	2 (2.9)	6 (3.5)	4 (2.4)	—	1 (0.9)	—
	1㎡以上 1.98㎡未満	54 (8.5)	7 (10.3)	14 (8.1)	18 (11.0)	7 (7.4)	6 (5.7)	2 (6.1)
	1.98㎡以上 3.3㎡未満	53 (8.3)	7 (10.3)	12 (7.0)	19 (11.6)	9 (9.6)	4 (3.8)	2 (6.1)
	3.3㎡以上 5㎡未満	43 (6.8)	2 (2.9)	11 (6.4)	16 (9.8)	11 (11.7)	2 (1.9)	1 (3.0)
	5㎡以上	110 (17.3)	9 (13.2)	19 (11.0)	33 (20.1)	42 (44.7)	7 (6.6)	—
園外活動圏域	400m未満	142 (22.3)	14 (20.6)	39 (22.7)	36 (22.0)	32 (34.0)	19 (17.9)	2 (6.1)
	400m以上 800m未満	223 (35.0)	22 (32.4)	63 (36.6)	57 (34.8)	28 (29.8)	38 (35.8)	15 (45.5)
	800m以上 1,200m未満	194 (30.5)	21 (30.9)	53 (30.8)	55 (33.5)	21 (22.3)	35 (33.0)	9 (27.3)
	1,200m以上	78 (12.2)	11 (16.2)	17 (9.9)	16 (9.8)	13 (13.8)	14 (13.2)	7 (21.2)
利用地域資源数	5件未満	287 (45.1)	26 (28.2)	77 (44.8)	75 (45.7)	63 (67.0)	40 (37.7)	6 (18.2)
	5件以上 10件未満	267 (41.9)	33 (48.5)	69 (40.1)	71 (43.3)	27 (28.7)	45 (42.5)	22 (66.7)
	10件以上 15件未満	55 (8.6)	4 (5.9)	18 (10.5)	14 (8.5)	1 (1.1)	14 (13.2)	4 (12.1)
	15件以上	28 (4.4)	5 (7.4)	8 (4.7)	4 (2.4)	3 (3.2)	7 (6.6)	1 (3.0)

注) 上段は事例数、下段は事例数の地域タイプ別の事例総数に対する百分率を示す。

表4 園庭面積と園外活動の関係

		合計	児童1人当たりの園庭面積					
			0㎡ (園庭なし)	1㎡未満	1㎡以上 1.98㎡未満	1.98㎡以上 3.3㎡未満	3.3㎡以上 5㎡未満	5㎡以上
合計		637 (100.0)	364 (100.0)	13 (100.0)	54 (100.0)	53 (100.0)	43 (100.0)	110 (100.0)
園外活動 圏域	400m 未満	142 (22.3)	74 (20.3)	1 (7.7)	11 (20.4)	14 (26.4)	11 (25.6)	31 (28.2)
	400m 以上 800m 未満	223 (35.0)	134 (36.8)	6 (46.2)	12 (22.2)	21 (39.6)	13 (30.2)	37 (33.6)
	800m 以上 1,200m 未満	194 (30.5)	105 (28.8)	5 (38.5)	23 (42.6)	14 (26.4)	17 (39.5)	30 (27.3)
	1,200m 以上	78 (12.2)	51 (14.0)	1 (7.7)	8 (14.8)	4 (7.5)	2 (4.7)	12 (10.9)
利用地域 資源数	5 件未満	287 (45.1)	140 (38.5)	5 (38.5)	19 (35.2)	30 (56.6)	23 (53.5)	70 (63.6)
	5 件以上 10 件未満	267 (41.9)	159 (43.7)	6 (46.2)	26 (48.1)	21 (39.6)	17 (39.5)	38 (34.5)
	10 件以上 15 件未満	55 (8.6)	44 (12.1)	2 (15.4)	4 (7.4)	1 (1.9)	2 (4.7)	2 (1.8)
	15 件以上	28 (4.4)	21 (5.8)	—	5 (9.3)	1 (1.9)	1 (2.3)	—

注) 上段は事例数、下段は事例数の児童1人当たりの園庭面積別事例総数に対する百分率を示す。

ない施設や、園庭面積が小さい施設の方がより多くの種類の地域資源を利用していることが分かった。

4. 地域タイプ別の保有地域資源とその利用

分析対象施設が立地している周辺地域が、保育上園外活動に利用できる資源として、どのようなものを保有しているかを、都市地図(Mapple:ZENRIN 縮尺:1/3,000)を用いて、施設を中心とした半径1,200mの範囲で抽出した結果と、その保有資源のうち本調査対象施設が利用していた地域資源を表5に示す。これらの資源がどのような保育目的で利用され得るかを検討した結果、①公園や寺、森といった「体力作りや自然に触れる」ことのできる資源(以下「体」資源と示す)、②他の保育所や児童会館、老人ホーム、市民センターなど「人と触れあう、または集団体験ができる」資源(以下「人」資源と示す)、③図書館・博物館・美術館や商業施設など「教養・文化・社会の事象を学ぶ」資源(以下「教」資源と示す)の3種類の保育資源タイプに分けられた。

(1)利用している地域資源

分析対象施設が1,200m圏内で利用している地域資源数の平均は5.4件で、これらを前述の保育資源タイプ別に見てみると、「体」資源は3.8件(70.9%)、「人」資源は0.8件(14.7%)、「教」資源は0.6件(10.5%)と、「体」資源が大半を占めていた。地域タイプ別に見ても、全ての地域タイプにおいて「体」資源の割合が最も高く、7割前後であった。「体」資源では、街区公園や近隣公園といった都市公園が最も多く利用されており、次いで広場や緑地などが利用されている。次に「人」資源では、連携保育所を含む他の保育所やこども園などの児童福祉施設の利用が最も多く見られ、次いで市民センターや公民館といった地域サービス施設、さらに老人ホームやデイサービスセンターなどの老人福祉施設の利用も見られる。「教」資源では、デパートやスーパーマーケット、商店街といった商業施設の利用が最も多く、次いで図書館や美術館などの教養文化施設の利用が見られる。

(2)保有している地域資源

分析対象施設が 1,200m 圏内に保有している地域資源数の平均は 78.6 件で、これらを保育資源タイプ別に見てみると、「体」資源は 24.2 件(30.8%)、「人」資源は 9.7 件(12.3%)、「教」資源は 36.8 件(46.8%)と、「教」資源が最も多く、「体」資源は 2 番目に多く保有されていた。これらは利用されている地域資源数の傾向とは異なる結果であった。地域タイプ別に見ても、全ての地域タイプにおいて「人」資源の割合が最も高く 4～5 割で、次いで「体」資源が 3～4 割、「教」資源は 1～2 割であった。

表5 保有している地域資源と利用している地域資源(N=637)

			＜ 保 有 し て い る 地 域 資 源 ＞						＜ 利 用 し て い る 地 域 資 源 ＞						
保育資源 タイプ	地域タイプ		新興 住宅地 N=68	密集 住宅地 N=172	開発完了 住宅地 N=164	開発新興 住宅地 N=94	市街地 N=106	工業地 N=33	新興 住宅地 N=68	密集 住宅地 N=172	開発完了 住宅地 N=164	開発新興 住宅地 N=94	市街地 N=106	工業地 N=33	
	地域資源の種類														
体力を 作る ・ 自然と 触れあう	都市公園	街区公園、小規模公園	2.97 4.94 5.66	2.45 5.12 6.49	1.99 3.50 3.73	1.30 2.07 1.54	2.16 3.33 4.27	2.06 4.06 4.45	2.00 1.03 0.12	1.65 1.17 0.12	1.38 0.75 0.10	0.87 0.59 0.07	1.68 0.90 0.17	1.67 1.39 0.24	
		近隣公園、地区公園	0.26 0.74 0.66	0.16 0.55 0.81	0.21 0.46 0.68	0.09 0.24 0.28	0.22 0.53 0.87	0.15 0.45 0.55	0.19 0.21 0.03	0.15 0.20 0.06	0.12 0.17 0.06	0.07 0.13 0.04	0.16 0.25 0.14	0.12 0.30 0.06	
		総合公園、運動公園	0.01 0.22 0.15	0.02 0.05 0.13	0.04 0.10 0.19	0.01 0.06 0.10	0.01 0.09 0.24	0.03 0.12 0.21	－ 0.04 0.06	0.01 0.02 0.04	0.04 0.06 0.02	－ 0.03 －	－ 0.08 0.03	0.03 0.03 0.03	
		広場等	0.25 0.26 0.38	0.23 0.30 0.54	0.23 0.32 0.45	0.20 0.22 0.31	0.20 0.44 0.34	0.39 0.45 0.61	0.21 0.07 0.01	0.15 0.12 0.03	0.20 0.06 0.02	0.18 0.07 －	0.15 0.20 0.02	0.33 0.33 0.03	
	祭祀施設	寺、神社	0.63 2.13 3.91	1.99 4.48 6.38	0.98 3.14 4.20	1.02 2.44 3.41	2.92 7.26 11.04	0.88 3.24 6.03	0.03 0.06 0.03	0.15 0.05 0.01	0.13 0.06 0.01	0.21 0.12 0.03	0.22 0.10 0.05	0.03 0.06 －	
		自然の地形と農地	0.03 0.04 0.03	0.05 0.06 0.10	0.02 0.02 0.04	0.12 0.12 0.07	0.04 0.08 0.07	－ － 0.09	0.03 － －	0.02 0.02 0.01	0.02 0.02 0.01	0.12 0.09 －	0.02 0.03 －	－ － －	
	総数（自然体験資源）		4.16 8.34 10.79	4.90 10.56 14.46	3.48 7.55 9.29	2.73 5.16 5.71	5.54 11.74 16.82	3.52 8.33 11.94	2.46 1.41 0.25	2.12 1.57 0.26	1.90 1.12 0.21	1.46 1.02 0.15	2.23 1.55 0.41	2.18 2.12 0.36	
	全圏域合計		23.29	29.91	20.31	13.61	34.09	23.79	4.12	3.95	3.23	2.63	4.18	4.67	
	人と触れ あう・ 集団体験 をする	児童福祉 施設	保育所（連携保育所含む）、こども園	0.63 1.19 1.62	0.81 1.58 2.67	0.52 1.26 1.70	0.33 0.51 0.80	0.59 1.58 2.11	0.76 1.91 2.48	0.25 0.13 0.04	0.20 0.19 0.12	0.22 0.23 0.13	0.21 0.05 0.02	0.21 0.26 0.10	0.21 0.30 0.24
			児童会館、子どもセンター、子育て支援センター	0.09 0.16 0.21	0.08 0.14 0.24	0.08 0.15 0.21	0.13 0.12 0.14	0.10 0.15 0.24	0.03 0.36 0.27	0.03 0.06 0.04	0.05 0.01 0.02	0.04 0.03 0.02	0.04 0.01 －	0.07 0.08 －	0.03 0.06 －
			老人福祉施設	0.24 0.90 0.79	0.22 0.73 1.25	0.21 0.48 0.86	0.21 0.33 0.56	0.22 0.64 0.96	0.21 0.73 0.70	0.03 － －	0.02 0.01 －	0.05 0.02 －	0.05 － －	0.03 0.01 －	0.03 0.03 －
		地域サービス施設	市民センター、地域センター、公民館、役所	0.46 1.25 2.12	0.53 1.19 1.85	0.56 1.51 2.24	0.52 1.05 1.48	0.72 1.54 1.78	0.52 0.70 1.70	0.03 0.31 －	0.04 0.03 －	0.08 0.02 0.01	0.02 0.04 －	0.07 0.02 0.03	0.21 0.03 －
総数（集団体験資源）			1.41 3.50 4.74	1.65 3.63 6.02	1.38 3.40 5.01	1.19 2.01 2.98	1.63 3.92 5.09	1.52 3.70 5.15	0.41 0.22 0.09	0.31 0.24 0.12	0.40 0.29 0.16	0.33 0.11 0.02	0.37 0.37 0.13	0.48 0.42 0.24	
全圏域合計		9.65	11.30	9.79	6.18	10.64	10.36	0.72	0.67	0.85	0.46	0.87	1.15		
教養・文化・ 社会の事象を 学ぶ	教養文化施設	図書館、美術館、博物館、水族館	0.12 0.25 0.40	0.20 0.37 0.52	0.16 0.32 0.39	0.05 0.13 0.10	0.41 0.96 0.98	0.18 0.33 0.52	0.09 0.06 0.03	0.05 0.06 0.03	0.09 0.07 0.01	－ 0.01 0.02	0.13 0.12 0.02	0.12 － 0.06	
		商業施設	3.59 8.01 11.15	4.72 11.99 15.55	3.87 9.04 12.07	2.01 4.26 7.60	8.00 15.93 21.93	4.94 10.09 15.61	0.15 0.07 0.03	0.15 0.05 0.01	0.11 0.06 －	0.03 0.05 0.01	0.25 0.09 －	0.21 0.03 0.03	
	公益施設	消防署	0.07 0.13 0.28	0.10 0.23 0.40	0.10 0.24 0.30	0.02 0.10 0.35	0.15 0.36 0.32	0.12 0.24 0.30	0.03 0.03 0.01	0.02 0.02 0.01	0.01 0.01 －	－ 0.02 －	0.05 0.01 －	0.03 0.06 0.50	
		交通機関	0.21 0.43 0.71	0.48 0.94 1.34	0.21 0.37 0.51	0.05 0.12 0.37	0.92 1.36 2.25	0.42 0.82 1.79	0.01 0.01 0.01	0.09 0.05 0.01	0.02 0.04 －	0.04 0.02 －	0.06 0.07 －	0.06 0.06 0.03	
	娯楽施設	遊園地、競技場	0.04 0.19 0.19	0.05 0.12 0.15	0.04 0.10 0.12	0.03 0.10 0.07	0.07 0.13 0.18	0.06 0.06 0.09	－ 0.01 0.01	0.01 0.01 0.01	0.01 0.01 －	0.01 0.01 0.01	0.01 0.05 －	－ 0.03 0.03	
		総数（社会体験資源）	4.03 9.01 12.72	5.54 13.65 17.96	4.38 10.07 13.40	2.17 4.69 8.49	9.55 18.75 25.66	5.73 11.55 18.30	0.28 0.19 0.09	0.31 0.20 0.05	0.24 0.19 0.01	0.09 0.11 0.01	0.49 0.34 0.02	0.42 0.18 0.12	
	全圏域合計		25.76	37.15	27.85	15.35	53.95	35.58	0.56	0.56	0.44	0.20	0.85	0.73	
その他	教育施設	幼稚園（連携幼稚園含む）	0.28 0.85 1.15	0.56 0.98 1.41	0.32 0.73 0.98	0.18 0.32 0.49	0.53 0.98 1.24	0.24 0.64 1.03	0.06 0.09 0.01	0.05 0.03 0.01	0.07 0.04 0.02	0.05 0.01 －	0.04 0.04 －	0.03 0.03 0.03	
		防災拠点＊	－	－	－	－	－	－	0.06 0.01 0.01	0.09 0.05 0.02	0.14 0.06 0.01	0.04 0.02 0.01	0.05 0.03 0.01	0.06 － －	
	総数（全地域資源）		9.88 21.71 29.40	12.65 28.82 39.84	9.45 21.75 28.68	6.28 12.18 17.67	17.25 35.38 48.81	11.00 24.21 36.42	3.26 1.93 0.60	2.88 2.10 0.63	2.74 1.69 0.57	1.97 1.27 0.41	3.17 2.32 0.70	3.18 2.73 0.94	
全圏域・全資源合計		60.99	81.31	59.88	36.13	101.43	71.64	5.63	5.45	4.86	3.41	6.12	6.67		

注) 上段は、施設が半径 400m 圏内に保有している/利用されている地域資源平均数、中段は半径 400～800m 圏内の地域資源平均数、下段は半径 800～1,200m 圏内の地域資源平均数を示す。

*この項目にある施設は、地域資源数としてカウントしていない。

(3)保有資源と利用資源の関係

施設が保有している地域資源と利用している地域資源を比較してみると、「体」資源においては、大半の施設が数多く保有しており、受託児童の年齢構成や特性、さらには目的地までの歩行距離などを考慮の上、適切な資源を数件選択し、利用していると予測できる。しかし、「人」資源においては、10件程度の資源を保有しているにも関わらず、全く利用していない施設もある。特に集団保育を補う役割を果たすべき連携施設が園外活動圏内に所在しているにも関わらず、全く利用していない施設もある。連携施設までの歩行経路に問題があるか、または連携のあり方に問題があると予測できる。さらに、「教」資源においては、地域タイプごとに数や種類にばらつきがあるものの、最も少ない「開発新興住宅地」でも15.4件、最も多い「市街地」では54.0件と豊富な資源を保有している。しかしながら実際の利用はすべての地域タイプで1件に満たない。最も多くの「教」資源を保有する「市街地」においても、施設が利用しているのは0.9件である。これには、施設が教育文化施設や商業施設を保育に利用すると他の利用者に迷惑をかけると考え利用を控えている、あるいは利用の可能性や必要性があるとは考えていないと予測できる。これらの予測については、ヒアリング調査や施設周辺の物理的環境などの実態調査が必要である。

5. まとめ

本研究は小規模保育施設の園外活動の現況を明らかにすることを目的とした基礎的研究で、日本全国の小規模保育施設に対して郵送によるアンケート調査を実施し、有効回答が得られた637件を分析対象施設としたデータから分析を行なった結果、以下のような知見が得られた。

- 1) 施設が立地している周辺環境の地域特性を①住宅の密集度合い、②公共施設・商業施設の種類の有無、③交通機関の有無、④農地や空地の有無と面積、⑤道路網の状況、を軸として分析したところ「新興住宅地」、「密集住宅地」、「開発完了住宅地」、「開発新興住宅地」、「市街地」、「工業地」の6タイプに分類された。
- 2) 分析対象施設の90%が施設を中心とした半径1.2km圏内で園外活動を行なっている。
- 3) 本分析対象施設が立地している周辺地域が、保育上園外活動に利用できる資源としてどのようなものを保有しているかを、保育目的の視点から分類したところ、①「体力作りや自然に触れる」ことのできる資源、②「人と触れあう、または集団体験ができる」資源、③「教養・文化・社会の事象を学ぶ」資源の3種類の保育資源タイプに分けられた。

次報以降では、これらの園外活動がどのように行われているのか、また様々な種類の地域資源がどのように活用されているのか、施設が保有している資源が利用されていない理由がどこにあるのかなど、園外活動と地域資源の関係について明らかにすべく、詳細な実態調査を行う予定である。

謝辞

本研究の一部はJSPS科研費JP18K02510の助成を受けたものです。調査を行う上で貴重なご意見をいただいた、子どもの領域研究所 代表の尾木まり先生を始め、アンケートにご協力をくださった全国の小規模保育施設の方々や、研究に参加した帝塚山大学卒業生の林愛希子さんに厚く謝意を示します。

参考文献

- 1) 辻川ひとみ・吉住優子：小規模保育施設における保育運営と施設計画に関する基礎的研究、帝塚山大学現代生活学部紀要、第17号、pp.18-26、2021.3

- 2) 辻川ひとみ・中野明：全国の自治体における家庭的保育制度の実態と個人実施型施設の平面構成について、家庭的保育施設の計画と運営に関する建築計画的研究所の1、日本建築学会計画系論文集、No. 695、pp. 89-96、2014. 1
- 3) 辻川ひとみ・中野明：「個人実施型」家庭的保育施設の運営内容と保育室の使い方について、家庭的保育施設の計画と運営に関する建築計画的研究所の2、日本建築学会計画系論文集、No. 705、pp. 2387-2394、2014. 11